

## 関西高度外国人材活躍地域コンソーシアム、始動

関西での高度外国人材の活躍をめざし、「関西高度外国人材活躍地域コンソーシアム(以下、関西コンソーシアム)」が2023年2月に設立された。設立以降、事業者の公募や事業内容の具体化を進めてきたが、いよいよこの秋から、関西企業への留学生の就職支援に向けた取り組みが本格化する。今号では、日本における外国人留学生の状況とあわせ、関西コンソーシアムについて紹介する。

### 日本における外国人留学生の状況

2008年、政府は、2020年を目標に留学生を30万人受け入れる「留学生30万人計画」を打ち出した。計画は、2019年にわが国の留学生数が31万人を超えたことで目標年次より1年早くいったん達成されたが、新型コロナウイルス感染症の流行等の影響により2020年以降の留学生数は30万人を切り、2022年5月時点では約23万人が日本に留学している(日本語教育機関への留学を含む\*)。2023年4月、政府の有識者会議は、外国人留学生について、2033年までの受け入れ数40万人、就職率60%をめざすことを新たな目標として掲げた。

高度外国人材の獲得に向けた各国間の競争が激化するなか、日本が人材を獲得する主要な方策の一つが、来日している留学生に卒業後、日本で就職し、定着して働いてもらうことである。

政府は、こうした流れを強化する具体的な取り組みの一つとして、「高度外国人材活躍地域コンソーシ

アム」を設立、外国人留学生等の地元企業への就職・定着支援を行うこととした。

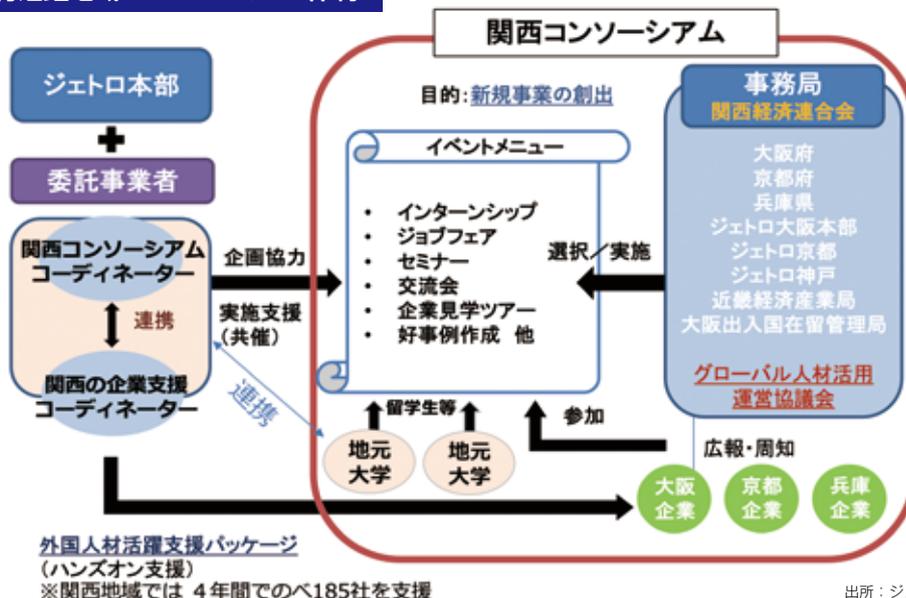
\*出所：日本学生支援機構「2022(令和4)年度外国人留学生在籍状況調査結果」

### 高度外国人材活躍地域コンソーシアムとは

「高度外国人材活躍地域コンソーシアム」が5年間の事業期間でめざすのは、それぞれの地域で高度外国人材が活躍することにより、各企業の競争力を強化し、地域経済の活性化につなげることである。すでに国内の6地域で準備が進められており、なかでも、北陸高度外国人材活躍地域コンソーシアムは2022年12月に、関西コンソーシアムは2023年2月に先行して設立された。

関西コンソーシアムは当会が事務局を担っており、大阪府、京都府、兵庫県といった自治体、3府県の日本貿易振興機構(ジェトロ)、近畿経済産業局および大阪出入国在留管理局のほか、当会のグローバル

### 関西高度外国人材活躍地域コンソーシアム 体制



人材活用運営協議会(会長：稲付嘉明 関経連D&I専門委員会副委員長)が参画している。関西コンソーシアムは、大学等とも連携を深めながら、事業期間中、地域一体となって留学生の就職支援に取り組む。

関西コンソーシアムでは主な対象として、高度外国人材の採用に課題を抱えている企業のほか、採用をまだ検討していない中堅・中小企業を想定しており、高度外国人材が中堅・中小企業で活躍する好事例を作り出し、域内外への共有・発信を進めていく。

具体的な取り組みとしては、ジェットロへの交付金を活用し、委託を受けた事業者が留学生への就職支援プログラム等を実施する。こうした活動をサポートするため、各コンソーシアムには、コーディネーターが配置されている。

## 関西コンソーシアム キックオフイベントの開催

関西コンソーシアムの設立にあたり、当会では経済産業省との共催にて今年2月にキックオフイベントを開催、会場とオンラインをあわせて約130名が参加した。

企業事例紹介に登壇した津田物産では、外国人材採用に向けた在留資格等の手続きに関し、大阪外国人雇用サービスセンター等の支援を受け、2022年4月から外国人留学生2名を採用した。この2名の働きで海外との電話やWeb会議等を通じた直接取引が

可能となり、商品の輸出拡大につながるなどの大きな成果が出たと報告した。また、自分の意見をはっきり述べて意思統一をはかろうとする外国籍社員の姿勢によって、社内の風通しも良くなったと述べた。

ほかの2社からも、公的機関等による支援事業を活用した留学生の採用がきっかけとなり、事業の拡大や社内の雰囲気改善につながった事例が紹介された。

## 関西コンソーシアムの今後の動き

初年度の事業としては、高度外国人材の採用を後押しするセミナーの開催等を予定している。そのほかにも事業期間中、企業の声を聞きながら、ジョブフェアや採用説明会の開催をはじめ、外国人材の活躍の重要性への理解を深め、取り組みを進める契機となるような活動を中心とした事業の展開をめざしていく。

当会が5月に公表した「政府の“三位一体の労働市場改革”に対する意見」においても、企業における高度外国人材の獲得に向けた課題を整理し、環境整備に取り組むことを政府に求めた。当会としても「関西ビジョン2030」に掲げた「7本の矢」の一つである「多様な人材が能力を最大限発揮できる環境整備」に向け、外国人材の受け入れについて、今後も動向を注視し、取り組みを進めていく。

(労働政策部 松尾知美)

### 「関西高度外国人材活躍地域コンソーシアム」キックオフイベント 開催概要

日程：2023年2月22日(水) 場所：関経連29階会議室／オンライン \* 役職は開催当時のもの

#### 【開会挨拶】

関西経済連合会 副会長 牧野 明次 氏  
近畿経済産業局 局長 伊吹 英明 氏

#### 【関西コンソーシアム/ ジェットロの伴走型支援の概要説明】

ジェットロ 大阪本部長 村橋 靖之 氏  
ジェットロ ビジネス展開・人材支援部  
国際ビジネス人材課長 河野 敬 氏

#### 【企業事例紹介】

津田物産 取締役 吉本 俊彦 氏  
RUTILEA 社長 矢野 貴文 氏  
伊福精密 総務部 伊福 照恵 氏

#### 【トークセッション】

「関西コンソーシアムの目指すべき姿とは？」  
〈登壇者〉

Transcend-Learning 理事兼事務局長  
吉田 圭輔 氏(ファシリテーター)

グローバル人材活用運営協議会 会長 稲付 嘉明 氏  
津田物産 取締役 吉本 俊彦 氏  
同志社大学  
グローバル・コミュニケーション学部(留学生)  
ソウ ダヨン 氏

#### 〈コメント〉

関西大学 国際部 教授 古川 智樹 氏



挨拶する牧野副会長



トークセッション